

ジョブ・カード作成ワークを含む研修やキャリアコンサルティングを実施し、法人独自の人材育成制度構築の足掛かりに！



【企業名】	社会福祉法人 ほっと福祉記念会
【所在地】	福島県郡山市
【業種】	医療, 福祉
【事業概要】	障がい者の生活・就労支援事業
【設立】	2001年6月
【従業員】	145名

導入目的：
 法人独自の人材育成制度構築の参考にするため

取り組み内容：
 ジョブ・カード作成ワークを含む役職層向けの研修やキャリアコンサルティングの実施

導入成果：
 前向きに業務に取り組む職員が増え職員意識の変化を実感

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？

障がい者支援のニーズは年々増加・多様化しており、福祉サービスの需要が高まる中、当法人は人手不足や高齢化等の課題を抱えています。若手職員の定着や個々の職員の力を最大限に活かせる組織へ成長するには、現場で必要な知識・スキルを高める学びの機会の提供や、独自のキャリアパス制度の策定など、人材育成に一層力を入れた施策が急務となっております。キャリア形成・学び直し支援センターより、キャリア支援の専門家から助言や指導をいただくジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの機会がある事を知り、今後の制度構築の参考にするため導入を決めました。

組織内の円滑な人間関係の構築と、コミュニケーションを通じた組織活性化の先には、業界全体の課題でもある「サービスの質向上」が期待できます。職員の意識向上を促すことは、当法人の重要な役割と捉え、まずは、組織の上層部へ先立って理解と意識変革をしてもらう目的で、各施設長と、現場リーダー層の主任・副主任計30名に研修を実施しました。ジョブ・カードの作成ワークでは、過去の経験や実績、現在の仕事の意義や課題、今後の目標やキャリアについて自己理解を深めた上で、キャリアコンサルティングを行いました。

キャリアコンサルティングを受けた職員からは、ジョブ・カードを活用し自己理解が進んだ中で、「改めて障がい者支援の仕事が好きだと気付いた」「資格取得も頑張りたい」という感想が聞かれ、満足度も大変高く、仕事に対する意識の向上を感じました。一般職員に向けた研修やキャリアコンサルティングの実施も検討中で、法人としても、定期的なキャリア研修や個別面談により、人材育成制度のヒントも得ることで、制度構築に向けた良い足掛かりとなりました。更なるサービスの質の向上に向け、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。